

申告書（自己申告用）の記載要領

警視庁生活環境課

本要領は、警察庁通達「猟銃等の所持許可のための調査及び審査の実施要領について（通達）」（令和8年6月22日警察庁丁保発第71号）の様式第2号「申告書（自己申告用）」の作成について、より分かりやすく説明するためのものとなります。

御利用に際しては、本要領が当庁への申請者を対象として作成されたものであることを御承知おきください。

1 申請者欄

(1) 記入日

実際に申告書を作成した日を記載してください。

ただし、申請までに記載内容の変更が生じないように、なるべく申請日の直前に作成してください。

(2) 生年月日・年齢

ア 所持許可申請の方

右側の「許可申請」にチェックし、カッコ内に申請日時点の満年齢を記載してください。

申請日が未定で満年齢が変わりそうな場合は、申請時に記入しても構いません。

イ 所持許可更新申請の方

右側の「更新申請」にチェックし、カッコ内には更新を受けようとする許可の有効期間満了日時点の満年齢を記載してください。

ウ 各種認定申請の方

チェックする項目がありませんので、生年月日の下の余白に、記入日時点の満年齢をカッコ書きで記載してください。

☒ 昭和 ☐ 平成 55年 5月 5日 (46)

(3) 緊急連絡先

氏名を書いた右側の余白には、住所の記載をお願いします。

(4) ※1 認知機能検査の受検が必要な方

こちらの注意書きに当てはまる方は、認知機能検査を受検する必要があります。

ただし、運転免許に係る認知機能検査等を、申請日以降の近日中に受検予定のある方（許可申請の場合）や、有効期間満了日の5か月前から申請日までの間に受検した方（更新申請の場合）は、その結果通知書の提示に代えられる場合があります。

詳細については、警察署係員にお尋ねください。

2 申請区分・銃種等に関する事項

(1) 申請区分

ア 所持許可・新規

- ・ 初めて猟銃・空気銃（空気拳銃を除く）を所持しようとする方
- ・ 初めてクロスボウを所持しようとする方
- ・ その他の銃砲等又は刀剣類（猟銃・空気銃（空気拳銃を除く）・クロスボウ以

外のもの)を所持しようとする方(初めての所持でも追加でも同じです)
は、こちらを選択してください。

イ 所持許可・更新

- ・ 現に猟銃・空気銃(空気拳銃を除く)を所持していて、その許可の更新を受けようとする方
 - ・ 現にクロスボウを所持していて、その許可の更新を受けようとする方
- は、こちらを選択してください。

ウ 所持許可・追加

- ・ 現に猟銃・空気銃(空気拳銃を除く)を所持していて、新たな別の猟銃・空気銃(空気拳銃を除く)を所持しようとする方
- ・ 現にクロスボウを所持していて、新たな別のクロスボウを所持しようとする方

は、こちらを選択してください。

また、

- ・ 現に猟銃・空気銃(空気拳銃)を所持していて、他の所持銃と更新時期を合わせるため、その銃を自己譲渡する形で許可を取り直そうとする方
- については、こちらを選択した上で、右側余白に「自己譲渡」と記載してください。

エ 認定申請・教習資格認定

現に所持していない猟銃を所持するために必要な射撃教習を受けようとする方は、こちらを選択してください。

オ 認定申請・練習資格認定

現に所持していない銃種の練習射撃場備付け銃で射撃を練習しようとする方(年少射撃資格者を除く)は、こちらを選択してください。

カ 年少射撃資格認定

10歳以上18歳未満で、日本スポーツ協会から推薦を受け、年少射撃監督者の指導の下、指導用空気銃・空気拳銃又は練習射撃場備付けの空気銃・空気拳銃で射撃を練習しようとする方は、こちらを選択してください。

キ クロスボウ射撃資格認定

クロスボウ射撃指導員の指導の下、指導用クロスボウで射撃を練習しようとする方は、こちらを選択してください。

(2) 銃種等

- ・ 所持許可申請の方は、対象となる銃砲等又は刀剣類の種類を選択してください。
種類の詳細は、以下のとおりです。
「ライフル銃(特定ライフル銃以外)」… 銃腔内腔旋割合が1/2超の猟銃
「特定ライフル銃」… 銃腔内腔旋割合が1/5以上1/2未以下の猟銃
「散弾銃」… 銃腔内腔旋割合が「なし」の猟銃
「ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃」… 銃腔内腔旋割合が1/5未満の猟銃
「その他」… [拳銃][空気拳銃][救命索発射銃][救命用信号銃][建設用びょう打銃][麻醉銃][と殺銃][刀][やり]等の種類名をカッコ内に記載してください。

- ・ 更新申請の方は、更新を受けようとする猟銃・空気銃・クロスボウの種類を選択してください。
- ・ 認定申請の方は、射撃教習又は射撃の練習で使用する予定の銃砲等の種類を選択してください。

(3) 用途

ア 許可申請又は更新申請で、対象が猟銃・空気銃（空気拳銃を除く）・クロスボウ

- ・ 許可申請の場合：所持しようとする猟銃・空気銃・クロスボウの用途を選択してください。
- ・ 更新申請の場合：更新を受けようとする猟銃・空気銃・クロスボウの現在の用途を選択してください。

イ 許可申請で、対象がその他の銃砲等又は刀剣類（前アに掲げるもの以外）

「その他」をチェックして、カッコ内に所持許可申請書で選択した用途を記載してください。

ウ 教習資格／練習資格／年少射撃資格／クロスボウ射撃資格の認定申請

- ・ 教習資格認定の場合：将来所持しようとする猟銃で予定している用途を選択してください。
- ・ 練習資格認定・年少射撃資格認定・クロスボウ射撃資格認定の場合：「標的射撃」を選択してください。

(4) 申請理由

ア 許可申請又は更新申請で、対象が猟銃・空気銃（空気拳銃を除く）・クロスボウ
「(記載例)」で示された内容について記載をお願いします。

記載が及んでいませんが、「標的射撃」を用途とする場合は、「標的射撃をしたい理由」について具体的に記載をお願いします。

イ 許可申請で、対象がその他の銃砲等又は刀剣類（前アに掲げるもの以外）

所持許可を申請することとなった理由や、「用途」欄で記載した用途についての詳細を記載してください。

銃砲等又は刀剣類をすでに所持している方が、同種のものを追加する場合は、使い分けや追加で必要となった理由も記載をお願いします。

ウ 教習資格／練習資格／年少射撃資格／クロスボウ射撃資格の認定申請

- ・ 教習資格認定の場合：前記アに準じて記載をお願いします。
- ・ 練習資格認定・年少射撃資格認定・クロスボウ射撃資格認定の場合：「標的射撃をしたい理由」について具体的に記載をお願いします。

3 団体加入に関する事項

本欄は、申請対象が猟銃・空気銃・拳銃・空気拳銃・クロスボウのいずれかである場合に、申請対象の銃砲等を使用するに当たって関係する団体への加入状況を教えていただくものとなります。

関係団体としては、様式中に記載済みのものも含め、下記のような団体があります。

- 猟銃・空気銃・拳銃・空気拳銃関係：
 - 銃砲安全協会 猟友会 狩猟倶楽部 ライフル射撃協会 クレー射撃協会 等
- クロスボウ関係：日本ボウガン射撃協会

上記のような関係団体に現在加入していない方は、「なし」にチェックし、理由の欄には現在まで加入してこなかった理由や、過去加入したが脱退した団体名・脱退理由等を記載してください。

本欄の記載の対象となる方は、以下のとおりです。

- これらに該当しない方は、記載する必要がありません。

許可申請又は教習資格認定の方は、申請に係る銃砲等で捕獲を予定している鳥獣の種類を記載してください。

捕獲対象の鳥獣が、大型獣類である場合は、「大型獣類」にチェックし、その種類について、該当するものにチェック（様式中に記載がない大型獣類の場合は、「その他」にチェックして種類名をカッコ内に記載）してください。

なお、更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方は、種類名の上下や横に過去3年間で捕獲した頭数も記載してください。

許可申請又は教習資格認定の方は、申請に係る銃砲等で捕獲を予定している地域を、なるべく市町村まで記載してください。

更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方は、申請に係る猟銃・空気銃で捕獲を実施した地域（市町村単位）及びその地域での捕獲実績（過去３年間）等を記載してください。

(3) 同行者

同行者とは、あなたが狩猟又は有害鳥獣駆除を実施する際（更新又は許可申請（自己譲渡）の場合は、実施した際）に、一緒に狩猟又は有害鳥獣駆除をする（した）方をいいます。

同行者がいない場合は、「なし」にチェックしてください。

この場合、独りで狩猟又は有害鳥獣駆除を実施する（してきた）ということになりますので、誰かに教わったりせず独学で狩猟技術を向上させていく方法や今後の計画について、カッコ内に記載してください。

同行者がいる場合は、「あり」にチェックし、同行者の方の住所・氏名・年齢を1～3名程度記載してください。

ただし、「あなたをよく知る方に関する申告書」に記載している同行者の方については、お名前だけの記載で構いません。

(4) 出猟回数・消費弾数

ア 出猟回数

○ 許可申請又は教習資格認定の方

申請に係る銃砲等を使用して出猟する（狩猟や有害鳥獣駆除を実施しに行く）予定の回数について記載してください。

狩猟の場合：次期狩猟期において月平均で何回出猟する予定か、今後1年間で何回くらい狩猟に行く予定か

有害鳥獣駆除の場合：現在受けている、又は今後申請する予定である鳥獣捕獲許可の期間内に月平均で何回出猟する予定か、今後1年間で何回くらい駆除に行く予定か

なお、両方実施する予定の場合は、カッコ内に狩猟の予定を、右側余白に有害鳥獣駆除の予定を記載してください。

○ 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方

申請に係る猟銃・空気銃を使用して出猟した回数について、帳簿などを確認して記載してください。

狩猟の場合：直前の狩猟期間内で月平均何回出猟したか、過去3年間を平均すると年何回狩猟に行ったか

有害鳥獣駆除の場合：現在受けている、又は直近まで受けていた鳥獣捕獲許可の期間内に月平均何回出猟したか、過去3年間を平均すると年何回駆除の行ったか

なお、両方を実施した場合は、カッコ内に狩猟の実績を、右側余白に有害鳥獣駆除の実績を記載してください。

イ 消費弾数

○ 許可申請又は教習資格認定の方

申請に係る銃砲等を使用して出猟する（狩猟や有害鳥獣駆除を実施しに行く）際に消費する見込みの実包等（実包、空包、金属製弾丸又は矢）について、一回の譲受けで何発の実包等を購入等するか、出猟1回につき何発の実包等を消費するかの見込みを記載してください。

なお、実包を自作される方は、譲り受ける銃用雷管及び無煙火薬の数量を実包

何発分かに換算して記載をお願いします。

○ 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方

過去１年間で、申請に係る銃砲等を使用して出猟した際に消費した実包等について、一回の譲受けて平均何発の実包等を購入等したか、出猟１回につき平均何発の実包等を消費したかの実績を、帳簿等を確認して記載してください。

なお、実包を自作される方は、譲り受けた銃用雷管及び無煙火薬の数量を実包何発分かに換算して記載をお願いします。

(5) 対象鳥獣の運搬・処理方法

○ 許可申請又は教習資格認定の方

狩猟又は有害鳥獣駆除により鳥獣を捕獲した場合に、どのような方法で獲物を運搬し、処理する予定かについて、独りでやるのか、同行者と共にやるのかを含めてなるべく具体的に記載してください。

○ 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方

狩猟又は有害鳥獣駆除により鳥獣を捕獲した場合に、普段どのような方法で獲物を運搬し、処理しているのかについて、独りでやるのか、同行者と共にやるのかを含めてなるべく具体的に記載してください。

(6) 狩猟免許・捕獲許可等の取得（予定）の有無

ア 狩猟免許（状）

- ・ 現在狩猟免許（状）がなく、取得に向けた具体的な計画もない場合
「なし」にチェックし、右側余白に現在まで狩猟免許（状）を取得せず、今後の予定も立てていない理由を記載してください。
- ・ 狩猟免許（状）を取得済みである場合
「あり」及びその狩猟免許（状）に記載の種別（「第１種」又は「第２種」）にチェックし、有効期間最終日の日付を記載してください。
- ・ 現在狩猟免許（状）がないが、取得に向けた具体的な計画がある場合
「取得予定」にチェックし、カッコ内に現在の取り組み状況を記載してください。

イ 狩猟者登録証

- ・ 現在狩猟者登録証がなく、取得に向けた具体的な計画もない場合
「なし」にチェックし、右側余白に現在まで狩猟者登録をせず、今後の登録する予定も立てていない理由を記載してください。
- ・ 狩猟者登録証を取得済みである、又は、直前狩猟期には取得していたが狩猟期の終了とともに返納済みである場合
「あり」にチェックし、カッコ内にその狩猟者登録証を取得した際に申請した都道府県（交付元の都道府県）名を記載してください。
- ・ 現在狩猟者登録証はないが、次期狩猟期には取得する予定である場合
「取得予定」にチェックし、カッコ内に狩猟者登録を申請する予定の都道府県名を記載してください。

ウ 鳥獣捕獲許可証（従事者証）

鳥獣捕獲許可証（従事者証）又は指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証（以下「許可証等」といいます。）の取得に関する欄となります。

- ・ 現在許可証等がなく、取得に向けた具体的な計画もない場合
「なし」にチェックし、右側余白に現在まで許可証等を取得せず、今後の予定も立てていない理由を記載してください。
- ・ 許可証等を取得済みである場合
「あり」にチェックし、カッコ内にその許可証等の有効期間最終日の日付、その許可証等を取得した際に申請した都道府県又は市町村（交付元の都道府県又は市町村）名、その許可証等により捕獲する対象の鳥獣の種類を記載してください。
- ・ 現在許可証等はないが、取得に向けた具体的な計画がある場合
「取得予定」にチェックし、カッコ内に許可証等を申請する予定の都道府県又は市町村名、その許可証等により捕獲する対象の鳥獣の種類を記載してください。

5 使用計画・実績に関する事項（標的射撃）

本欄の記載の対象となる方は、以下のとおりです。

- 許可申請：猟銃・空気銃又は拳銃、空気拳銃、クロスボウの所持許可を受けようとする方
- 更新申請：現所持中の猟銃・空気銃・クロスボウについて許可の更新を受けようとする方
- 各種認定：教習資格認定・練習資格認定・年少射撃資格認定・クロスボウ射撃資格認定を受けようとする方

これらに該当しない方は、記載する必要がありません。

(1) 射撃競技等の種類

申請に係る銃砲等で実施する（予定である）射撃の種目についてチェックし、該当する項目がない場合は「その他」にチェックしてカッコ内に射撃種目を記載してください。

- ・ 散弾銃（散弾使用）によるクレー射撃→「スキート」「トラップ」
- ・ ライフル銃による固定標的／移動標的の射撃→「ライフル」
- ・ 散弾銃（単弾使用）・空気銃・拳銃・空気拳銃・クロスボウによる固定標的射撃→「その他（固定標的射撃）」

(2) 競技等の参加実績（予定）

- 許可申請又は教習資格認定の方
今後、申請に係る銃砲等を使用して競技大会等に参加する計画がある場合は、「計画等」にチェックし、カッコ内に今後の競技大会等への参加計画を記載してください。
- 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方
過去3年間に申請に係る銃砲等を使用して競技（大会）に参加している場合は、「参加した競技（大会）、実績」にチェックし、カッコ内に参加した競技（大会）名及び実績を記載してください。
また、今後、申請に係る銃砲等を使用して競技大会等に参加する計画がある場合は、「計画等」にチェックし、カッコ内に今後の競技大会等への参加計画を記載してください。

○ その他の方

こちらの記載は不要です。

(3) 利用（予定）射撃場

申請に係る銃砲等で射撃を実施する（予定である）射撃場について、所在する都道府県名及び射撃場の名称を記載してください。（複数回答可）

なお、「県内」「県外」とありますが、それぞれ「東京都内」「他の道府県」と読み替えてください。

(4) 同行者

同行者とは、あなたが射撃を実施する際（更新又は許可申請（自己譲渡）の場合は、実施した際）に、一緒に射撃をする（した）方をいいます。

同行者がいない場合は、「なし」にチェックしてください。

この場合、独りで射撃を実施する（してきた）ということになりますので、誰かに教わったりせず独学で射撃技能を向上させていく方法や今後の計画について、カッコ内に記載してください。

同行者がいる場合は、「あり」にチェックし、同行者の方の住所・氏名・年齢を1～3名程度記載してください。

ただし、「あなたをよく知る方に関する申告書」に記載している同行者の方については、お名前だけの記載で構いません。

(5) 射撃回数・消費弾数

ア 射撃回数

○ 許可申請又は各種認定の方

申請に係る銃砲等を使用して射撃をする予定の回数について、記載してください。

○ 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方

申請に係る銃砲等を使用して射撃をした回数について、帳簿などを確認して記載してください。

イ 消費弾数

○ 許可申請又は教習資格認定の方

申請に係る銃砲等を使用して射撃をする際に消費する見込みの実包等（実包、空包、金属製弾丸又は矢）について、一回の譲受けて何発の実包等を購入等するか、射撃1回につき何発の実包等を消費するかの見込みを記載してください。

なお、実包を自作される方は、譲り受ける銃用雷管及び無煙火薬の数量を実包何発分かに換算して記載をお願いします。

○ 更新申請又は許可申請（自己譲渡）の方

過去1年間で、申請に係る銃砲等を使用して射撃をした際に消費した実包等について、一回の譲受けて平均何発の実包等を購入等したか、射撃1回につき平均何発の実包等を消費したかの実績を、帳簿などを確認して記載してください。

なお、実包を自作される方は、譲り受けた銃用雷管及び無煙火薬の数量を実包何発分かに換算して記載をお願いします。